

セントラルナーサリースクール病児・病後児保育室が、職員の皆さまへの福利厚生を目的として、竹島理事長先生発案のもと、経営企画課の皆さまや外来看護スタッフ、セントラルナーサリースクールの先生方のご協力のもとに、2018年7月に開設され5年の歳月が経過しました。

この間、世界は新型コロナウイルスのパンデミックに見舞われ、今なお我々の生活に大きな影響を与え続けています。

一方で、我々も経験を蓄積し、この病原体と医療的、社会的に向き合う術を磨いてきました。

「打破するのではなく、共存していく。」

小児科は新型コロナウイルス流行以前から、どの診療科よりも感染症と向き合っています。小児発熱外来に従事していて、最近ではその思いが強くなっております。

ポストコロナのセントラルナーサリースクール病児・病後児保育室は、お預けになるお子様の新型コロナウイルス検査を行っていただいた上で、引き続き保護者様のニーズに応えていきたいと思っております。

小学校入学前までの乳幼児期は、突然の体調変化を来しやすい時期であり、特に幼稚園や保育園へ入園して間もない頃は、繰り返し発熱することも珍しくありません。

保護者として、そのようなお子様に付き添い、寄り添ってあげることは大事であることは、間違いありません。

しかしながら、育児と仕事の両立を図るため、また、有給休暇日数や職場への影響を考えた時、「子供をみてくれる体制があるのであれば仕事に行ける」という選択肢は職員の皆さまの働きやすさにつながると考えます。

風邪はひかないにこしたことはありませんが、ひいてしまったものはどうしようもありません。セントラルナーサリースクールでは、病児・病後児保育に対応したケアをナーサリースタッフ、外来看護師、小児科医師が協力して提供できる体制を整えております。

現在ナーサリーに登録されていないお子様でも、病児保育室を利用するためのナーサリーへの登録が可能です。ご利用にあたっての詳細はナーサリースクール病児保育規程をご参照ください。

利用者の皆様に様々なご意見を頂いて、より使いやすい形へと発展させていければと考えております。

わかたけヘルスケアシステムの職員の皆さまが働きやすい環境作りに、セントラルナーサリースクール病児・病後児保育室が少しでも貢献できれば幸いです。

つくばセントラル病院・セントラル総合クリニック小児科

久松 聖人